

文学賞運営業務委託 評価基準書

区分	記載項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
(1)趣旨理解	趣旨の理解	提案が本業務の目的を理解した内容となっているか。	15 <6>
(2)業務実績	提案事業者の業務実績	本業務の目的達成に必要な知見や専門知識、ノウハウ、実績を有しているか。	10 <4>
(3)業務執行体制等	①執行体制	本業務執行のために適切な人員配置及び役割分担が妥当か。進捗確認など市との連絡・調整が速やかに行える体制か。問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	10 <4>
	②業務責任者の適性	過去5年間で、本業務の効率的な執行に有用と考えられる業務経験などを有しているか。	
(4)提案内容	①実施計画	事業実施計画は適正に作成されているか。	10 <4>
	②募集・PR	全国の多くの若者に松山市をPRできる募集方法となっているか。	60 <24>
		作品の受け付け体制は整備されているか。	
	③作品の審査	若い世代へ松山市をPRすることができる審査員を起用しているか。	60 <24>
		審査員長と十分な打ち合わせを行い、作品の審査を行う体制が用意されているか。	
	④結果発表・表彰式	松山市のPRにつながる表彰式が実施できるか。	15 <6>
	⑤受賞作品のPR	松山市のPRにつながるような受賞作品のPR方法となっているか。	60 <24>
⑥独自提案	本事業の目的達成のための有効な独自提案か。 (ただし、提案限度価格内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。)	40 <16>	
(5)価格	令和4年度の履行期間の委託料の総額	120点×{1-見積額/提案限度価格} (小数点以下切捨て) ※見積額及び提案限度価格は消費税及び地方消費税を除く額で算出する。	120
合 計			400